

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会助成事業
-------------------	-------------------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	5	犯罪のない安全なまちづくり
小分類	1	防犯対策の推進
主要な施策	2	地域ぐるみの防犯活動の推進
事務事業番号	003	事務事業コード 23512003 事業開始年度 平成 元 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金
------	------	------------	--------------------

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービス G
-----	-------	-------	----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>個人・集団を問わず、一切の暴力を追放し、明るく犯罪のない住みよい地域づくりの実現をめざすため、関係機関・団体と連携、効果的な地域活動を展開する協議会を支援、円滑な運営を図るために助成金を支給する。</p>
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会の活動に対し、助成金を支出し支援する。</p> <p>暴力団を恐れない 暴力団に金を出さない 暴力団を利用しないこの三ない運動を柱に、警察・地域住民との協力の下暴力追放運動街頭啓発をはじめ、暴力団排除を目的に市内各所に啓発旗の設置や各町内会へ回覧板の配布を行っている。</p> <p>また、暴力追放運動の一環として、祭りから暴力団露店を排除、資金源を断つために暴力追放運動推進団体連絡協議会を中心とする幌別地区手づくり祭り実行委員会により9月の2日間運営している。</p>
成果	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>市内から暴力団を追放・排除し、安全で安心して暮らせる明るいまちづくりを推進する。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> <p>登別市生活安全条例</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	暴力団による苦情相談件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	500	500	500	500	500	1,500
合 計				500	500	500	500	500	1,500
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	17	17			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		17	17			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 暴力団勢力は、暴力団対策法の定着と警察の厳しい取り締まり、更に市民の暴力団排除意識の高揚により減少はしている一方、拳銃発砲事件が発生するなど市民生活の安全に対し脅威を与えている情勢の中、暴力団を弱体化させるため官民一体での暴力追放運動を強力に展開していくことが必要と考えます。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 助成金により市民の安全で安心して暮らせるまちづくりを実現することができ、成果はあがっていると考えます。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 市の財政状況から現状以上の補助金の助成は難しいが、行政負担と住民の地域貢献、役割を明確にすることにより成果の向上が期待できると考えます。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 市内全域にわたり啓発旗の掲揚や広報や街頭による啓発活動、また、北海道暴力追放センターや室蘭警察署等との連絡調整を行っており、行政が支出する最小限の事業費であり削減はできません。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	近年、治安情勢の悪化による社会不安が増大していることから登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会の役割は一層増しており、継続した助成が必要である。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）